

## ギリシア史の歴史背景

### 古代史を理想化

特に前5世紀のペリクレス時代

↑

19世紀ヨーロッパ知識人の歴史意識

アテナイの全盛期

デロス同盟

民主政

ソフィスト達の活躍

芸術の頂点：パルテノン・フィディアス・演劇

反バルバロイ→オリエンタリズム→帝国主義正当化

### トルコ時代の抹殺

1453年～1834年

アクロポリスからモスクなどを撤去

ペリクレス時代のアクロポリスを再現

### ギリシア人の民族意識

19世紀の国語論争（現代ギリシア語か古典ギリシア語か）

ビザンツ史への関心

古代と現代をつなぐ

ギリシア史の一貫性を主張

ギリシア史展開の内発性

ギリシア内部で新文化創造

### 西欧人のギリシア観

トルコ支配下

ギリシア正教

経済的貧困

古代と現代の断絶

中世以降の民族移動による混血

劣化した子孫

民族移動による古代文化の展開

イオニア人、アカイア人、ドーリア人

### 現代日本人のギリシア史像

古代が圧倒的

ビザンツ史が簡略

ギリシアの独立（1834年）まで省略

ギリシア現代史への無関心

## ギリシアの国土

面積 13万2000平方キロ  
(日本 37万8000平方キロ)

人口 1030万人  
(日本 1億2466万人)

耕地面積 1万9000平方キロ (14.4%)

不毛地 20%

北緯42度 イスタンブール～ペッラ  
津軽海峡

北緯35度 クレタ島  
京都

北緯37度 コリント～アテネ～ミレトス  
新潟～宮城

## 夏のギリシアの気象

エテシア

北東の風

7月末～9月中旬

エウロス (シロッコ)

南東の風

サハラやエジプトの暑熱をもたらす

## 秋のギリシアの気象

ノトス

秋の驟雨をもたらす

## 冬のギリシアの気象

ボレアス

降霜をもたらす、

海の波を泡立たせる (波高 3m)

森を唸らせる

## 春のギリシアの気象

ゼフェロス

西風

春の到来

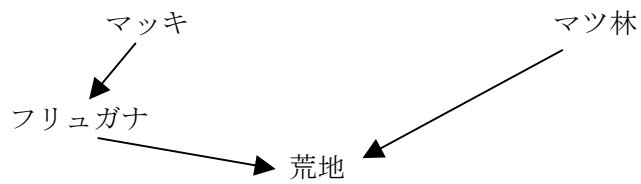
## ギリシアにおける環境破壊

氷河期時代 ステップ (ヨモギ・アカザ)



後氷期 一次林 (ナラ)





## 気温

アテネ

年平均気温 17.8 度

10月～1月 13.5 度

6月～9月 25.8 度 (京都 26.9 度)

冬期温暖で、南部で霜が降りず

オリーブの栽培に最適

## 土地利用

森林 14.8% (日本 68%)

耕地及び果樹園 26.2%

牧草地 39%

不毛地 20%

## 農業

地中海農業の三本柱

オリーブ

葡萄

麦

大麦が好まれる

前 328 年のアテナイの碑文 90%が大麦  
乾燥に強く (269mm 以上)、肥料不必要、  
収穫時期早く (5 月上旬)、単位収量 3 倍

## 農事暦

プレアデスが地平線に現れる頃 (615)

= 10 月中旬 播種

プレアデスが地平線沈む頃 (387)

= 5 月上旬 穀物の収穫

オリオンが初めて現れるまでに (598)

= 6 月中旬 脱穀

アルクトゥルスが地平線に沈む頃 (610)

= 8 月下旬 葡萄の収穫

シリウスとオリオンが南に傾く頃 (615)

= 9 月上旬 葡萄酒の仕込み

オリオンが地平線に沈む頃

=11月上旬 オリーブの収穫

## 漁業

植物プランクトン濃度

低い 150~250mg/m<sup>2</sup>/d

バルト海 500mg/m<sup>2</sup>/d 以上

海水温

27度(夏) 13~17度(冬)

回遊性の魚

鮫、鯉、鰯、蛸、烏賊、鯖、鯛など

## 牧畜

ヤギと羊 370万頭と580万頭

豚と猪 40万頭

牛 70万頭

犁耕 0.58馬力

馬 0.86馬力

ろば 0.21馬力

人間 0.08馬力